

令和4年度 機械物理学実験A 実験報告書評価表

課題\判定	D	C	B	A	S
A1 A2 A3	Webサイトを含む他人のファイルを「直接もしくは間接的に編集」または「打ち込み直した上で編集」をした報告書と判断される。実際の測定値と明らかに矛盾する値を使用した報告書と判断される。	報告書の書き方〔初回解説予定〕に沿ったレイアウト〔体裁〕が題〔節や項〕、図、表および数式において遵守されている。また適切な日本語が使用され、報告書に相応しい論理的文章の体で書かれている。	測定値が正しい形式で明示され、その統計処理〔第2回解説予定〕が適切に行われ、処理結果が正しい形式で示されている。以上から合理的とみなされる最終結果が正しい形式で示されている。	左記Bの最終結果に対して合理的な考察がなされている。与えられた課題に独自の解答が正しく与えられている。	実験課題に関連する左記Aよりも進んだ独自の考察を与えている。あるいは、実験課題に関連する独自の課題を設定して適切な解答解説を行っている。

課題の指針書をよく予習し、課題担当教員の注意・指示を守れば実験が上手く行かないことはまず起こりません。

その限りにおいては実験過程の態度などを評価対象とはしません。

何れかの課題で実験に正当な理由無く遅刻あるいは欠席する。あるいは正当な理由無く指定期限までに提出しない場合は機械物理学実験A自体の成績評価対象外となります。

S, A, B, Cの内容は $C \subset B \subset A \subset S$ という包含関係で必ず評価するというものではありません。

細部における配点は課題で差があります。最終成績はミニマム律速となる場合があります。実験Aの進行状況によっては上記の評価表は変更される場合もあります。